

2019/06/09

## 「人についての概略」

物事を見る時は、まずその概略をとらえ、全体像を見ることが大切です。いきなり細部から追求し始めると、実体がよくわからなくなってしまいます。私たちがどのように生きれば良いか、人生で出会う困難をどのように解決すれば良いかという問題も、現実の細かな問題にとらわれるのではなく、人という存在の概略を知るところから始めましょう。

### ■人の概略～神は人をどのように造ったか～

「そして神は、「われわれに似るように、われわれのかたちに、人を造ろう。そして彼らに、海の魚、空の鳥、家畜、地のすべてのもの、地をはうすべてのものを支配させよう。」と仰せられた。」(創世記 1:26)

人は神に似せて造られました。神を一言で表すなら「制約を受けない方」と呼ぶことができます。神は、時間にも空間にも制約されない自由なお方です。これを「永遠」と言います。今、私たちは時間にも空間にも制約され、自由や永遠を失った状態にいますが、神に似せて造られたということは、もともとはそうではなかったということです。

自由や永遠に対して、たいていの人が良いイメージを抱いています。○×をつけるなら、○です。神は良い方であり、すべてにおいて肯定される方です。神に否定はありません。この神に似せて造られたということは、私たちも本来○であり、良きものなのです。

「そのようにして神はお造りになったすべてのものをご覧になった。見よ。それは非常に良かった。こうして夕があり、朝があった。第六日。」(創世記 1:31)

神は人を造り上げ、「非常に良かった」と言われました。この時、人は自由で永遠であり、神と同じように否定がない存在だったのです。

「その後、神である主は、土地のちりで人を形造り、その鼻にいのちの息を吹き込まれた。そこで、人は、生きものとなった。」(創世記 2:7)

神は、人の体を造ってから、そこに「いのちの息」を吹き込んで人間を作りました。「いのち」は複数形で三位一体の神ご自身のいのちを表し、「息」は「霊」とも訳される言葉です。つまり、人が神に似せて造られたと言われているのは、形だけでなく、神のいのちそのものが分け与えられているからなのです。ですから、私たちのいのち(魂)も、自由を知っているし、永遠を知っているのです。

今、私たちの体は滅ぶものとなってしまいましたが、本来私たちの中に備わっている神の

いのちは、神ご自身と同様に善であり、何ものにも制約されず、一切の否定がなく、死も病気も怪我もない永遠で、神と同じことができるように造られているのです。

「私たちは神の作品であって、良い行ないをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、私たちが良い行ないに歩むように、その良い行ないをもあらかじめ備えてくださったのです。」(エペソ 2:10)

## ■現実の人間はどうなっているか

本来神と同じように自由であったはずの人間ですが、今現実の私たちはその自由を持っていません。心穏やかに人を愛して生きていきたいと願っても、「こういう人は好き、こういう人はキライ」と愛することに条件をつけ、怒ったり、嫉妬したり、自由に愛することができないでいます。「十字架に死んだ」と告白しているパウロですら、激怒して喧嘩をしたりしています。怒るのも嫉妬するのも良くないと思うものの、誰も自分でそれを止めることができません。つまり、愛することに制約がかかっているのです。また、神と同じ命を持つならば、病気になることも老いることもないはずですが、現実の私たちは制約だらけで、自由も永遠も持っていません。

それは、悪魔のしわざによって、人間に死が入り込んだことによるものです(創世記 3 章参照)。この時、体は死ぬものとなりましたが、神のいのちは永遠のままなので、それ以来、人は死と永遠という矛盾を抱えて生きるようになりました。

人間の体と魂を結んでいるものが、精神です。私たちを支えている体と魂が、死と永遠という矛盾を抱えたことにより、それを結ぶ精神は非常に不安定な状態になりました。片方は有限で肉の安心を負い求め、片方は永遠で理想や自由を求めています。聖書はこのことを、肉の思いと御霊の思いと呼んでいます。この二つはすべての人の潜在意識の中で常に葛藤しており、不安を生じさせています。こういうわけで、人間の根底には、いつも不安が存在しているのです。

## ■現実の概略

人は皆、自分を肯定することを目指して生きています。なぜなら、神ご自身が肯定という存在であり、人間は神のいのちを持っているため、いくら周りから「あなたはダメだ」と否定されても、本当の自分を確認しようとする思いが働くからです。自分を肯定したい、認めたいという思い、それが私たちの生きる原動力になっています。これは、「承認欲求」とか「向上心」とか「意欲」など、いろいろな呼び方をされていますが、要するに自分で自分を肯定しようとする生き方です。

本来、肯定とは神ご自身です。しかし、自分の力で肯定を目指すとなると、行いでなんとかしようとすることになります。ここに、何ができるかがその人の価値であるという価値観が生じたのです。聖書はそれを、「うわべで判断する」と呼んでいます。現在、これがこの世

界共通の価値観になっています。

良きものとして造られた私たちが、否定される世界の中で肯定されようとするのは当然です。問題は、神が見えないこの世では、それを自分の行いであるしかないということです。それは現代流に言うなら、行いを頑張っ、人々から多くの「いいね」をもらおうとする生き方のことです。

しかし、人から「いいね」をもらおうとすると、人と比較するようになります。比較が起きると、嫉妬や怒りが生まれます。これが犯罪すら生み出すこともあります。結局自分で自分を肯定しようとする、反対に苦しむ結果に陥ります。しかも、どんなに「いいね」を集めても、それは人間が本来知っている自由には程遠く、結局、虚しさしか残りません。この世でどんなに評価されようとも、人を自由に愛せるようになるわけでもなく、自由も永遠も手に入れることはできないのです。

ソロモンは「伝道者の書」の中で、それを「空の空」と言い、何を手にしても虚しいと語りました。私たちが知っている自由は、そんなものではないからです。この世界ではどんなに努力してもそれを手に入れることはできないのに、ないものを手に入れようと虚しい努力を繰り返して生きる……これが私たちのどうしようもない現実なのです。

## ■問題の解決

自分の行いで自分を肯定しようとして肉の満足を得ても、魂が求めているものとは違うため、それと同じだけの虚しさを味わうことになります。私たちが本来持っている肯定された姿を取り戻すことができるのは、私たちがそのように造られた神しかおられません。

神が私たちをもとの状態に戻してくれることを「恵み」と言います。それは行いに関係なく、誰にでも与えられるからです。私たちはそれをただ受け取ればよいだけです。太陽の光を受けるように、ただ光のもとに出てくれば良いのです。これが、唯一の回復の道です。

ですから、人からの「いいね」を気にする生活はやめましょう。イエス・キリストが、あなたを無条件で「いいね」しておられます。多く人は、イエス様の「いいね」を無視して、人からの「いいね」を欲していますが、そこで得られるのは虚しさばかりです。イエス様からの「いいね」には、インスタ映えする写真も動画も文章も必要ありません。あなたがありのままのままで「いいね」を送ってくださいます。

イエス様があなたに「いいね」を送ってくださっていることを確認できる一番良い方法は、イエス様に自分の罪を告白することです。この世でそんなことをしたら「いいね」どころか否定されてしまいますから、これは大きなチャレンジです。しかし、神はあなたがどんな罪人であってもあなたを認め、受け入れてくださいます。すると、あなたの魂がそれを受け取り、平安になります。私たちは神の恵みをただ無条件で受け取るだけで良いのです。

「罪過の中に死んでいたこの私たちがキリストとともに生かし、——あなたがたが救われたのは、ただ恵みによるのです。——」(エペソ 2:5)

「あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身が

ら出たことではなく、神からの賜物です。行ないによるものではありません。だれも誇ることをないためです。」(エペソ 2:8-9)

神の恵みを受け取ることが、私たちが肯定を受け取ることができる唯一の道です。この信仰を受け取りましょう。信仰とは、受け取るものです。神のことばを受け取ることができるよう、私たちは備えられているのです。これが、聖書が教えている解決方法です。しかし、人はつらくなると「私があんなことを言ったから」「仕事があまくいかなかったから」と行いがつらさの理由だと考えるものです。しかし、人間関係が回復しても、仕事があまくいっても、その平安は一時的な平安で、本質は何も変わっていません。あなたを平安にできるのは神だけです。神だけがあなたを肯定することができるのです。私たちの平安は神から来ます。それを信じて受け取るだけで、人は本来の姿を取り戻すことができるのです。

## ■神の恵みを受け取る3つのステップ

### 1. イエスが救い主なる神であることを受け取る

まず、イエス様だけが救い主であり、自分を助けることができるのはイエス様しかいないと認めることです。これを認めるところからスタートしない限り、すべての平安は一時的な物となり、本当に平安を得ることはありません。

### 2. イエス・キリストが私の罪を取り除くために十字架に架かったと信じる

イエス・キリストは、あなたの罪を取り除くために十字架に架かりました。罪とは否定です。あなたを否定し自由と永遠を奪ってしまった罪と死を排除するために、イエス様は十字架に架かったのです。

### 3. 無条件で愛されることを信じて、復活を信じる

「キリスト・イエスにおいて、ともによみがえらせ、ともに天の所にすわらせてくださいました。」(エペソ 2:6)

イエス・キリストはあなたを死から贖い出すために、十字架に架かりました。神はあなたを無条件で愛し、あなたを否定し制約するものをすべて十字架で排除したのです。この信仰を受け取ることを通して、唯一の平安を得ることができます。

信仰とは、まだ見ぬ事実を確認することです。あなたはすでに、無条件の愛・死からよみがえらせるものを受け取っていることを信じましょう。

神から受け取った信仰の目的は、まず神があなたを愛し肯定してくださっていることを信じることです。イエス様の十字架によって私たちは癒されるのです。癒しとは回復すること

です。否定された世界から肯定された世界に回復してくれるのが、イエス・キリストの十字架なのです。

私たちは自分の行いで自分を肯定しようとしてさまよってきました。それは、クリスチャンになっても変わっていません。自分の行いで肯定しよう、自分をマルにしようとする限り、私たちは迷い出ているのです。

私たちを肯定できる方、癒すことができる方は、イエス・キリストしかおられません。この信仰を堅く持つには、助け主が必要です。自分で頑張っても、その信仰を受け取ることはできません。その助け主として来られた方が聖霊様です。

聖霊を受け取り、聖霊が私たちの中で自由に活動できるように、心を神に向けましょう。聖霊の助けを受けるまでは、弟子達も伝道することはできませんでした。

神のことばを受け取り、平安を手にすることができるように、聖霊様が私たちを助けてくださいます。神のことばを血肉として、神と共にさらに力強く歩めるように、聖霊様の助けを受け取りましょう。